

令和6年度末の「保育内容等の自己評価」の集計を基に、保育園の自己評価をしています。

※評価基準 (A) よく出来ている (B) ほぼ出来ている (C) 努力が必要

## 1. 保育の理念・目標・計画・評価

- ・保育所保育方針と保育理念・目標の関係を理解し、保育過程を立てている。 (A)
- ・保育過程に基づいた具体的な指導計画を作成している。 (A)
- ・多様な保育需要に対して、地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している。 (A)
- ・各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり個々の発達にも留意したものを作成している。 (A)
- ・保育士は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている。 (B)

※日々の保育活動を振り返ることは行っているが、専門性の向上や改善のための学びの時間を十分に確保するのは難しい。園内研修や園内通信等、より効率的な学びの場をつくっていくことが今後の課題である。

## 2. 保育の内容

- ・子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮して保育を行っている。 (A)
  - ・評価結果を基に、保育の改善に努めている。 (A)
  - ・子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。 (A)
  - ・子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。 (B)
- ※日々、適切な衛生状態の確保に努めている。課題は、安全な環境作りである。園庭が狭いために、園外（散歩や公園遊び）活動を行っている。子どもたちが思い切って安全に過ごすことができる環境作りにも十分配慮していきたい。
- ・身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣等、総合的に多面的に子どもの状態を把握している。 (A)
  - ・食育の計画を作成し、日々の保育の中で子どもの「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培わなければならないことを理解している。 (A)
  - ・行事の種類や実施回数は適切に行われている。 (A)
  - ・行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている。 (B)

※行事終了時に毎回振り返りを行っている。次回に繋ぐことができるような体制をしっかりと作っていききたい。

### 3, 保育園の組織・役割分担

- ・豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている。 (A)
- ・保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決するため、研修に参加したり専門書を読んだりするなど自己研鑽を積んでいる。 (B)

※本園では、毎月の園内研修、職員会議、キャリアアップ、園内通信等を通して研修を行っている。  
短時間でも自己研鑽を積んでいく場の確保を考えていきたい。

- ・全職員は、施設内外の環境維持向上に努め、安全対策の共通理解や体制作りに努めている。 (A)
- ・職員間で常に報告、連絡、相談の体制が機能している。 (B)

※報告、連絡、相談を常に行うように努めているが、朝から帰りまでの職員の繋がりをより密にして  
いきたい。

- ・火災・地震・不審者侵入等の危機管理に努めている。 (A)

### 4, 家庭・地域社会

- ・家庭との連携を図るように努めている。 (A)
- ・関係機関と連携を図り、有効な対応に努めている。 (A)
- ・地域や保護者の意見を施設運営に反映している。 (B)

※コロナ禍以降、地域とのつながりが弱くなっているため、地域と交流の機会を確保していきたい。

### 5, 事務管理・運用

- ・個人記録簿は、適切に記載し整理保管している。 (A)
- ・職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底している。 (A)
- ・各種会計を適正かつ適切に処理している。 (A)

### 6, 情報発信

- ・保育園だより、クラスだより、食育だより、保健だより、ホームページ等で施設の情報を発信している。 (A)